

緩歩



曹洞宗
静岡県第一宗務所
青年会
第10期会長
小川善広

新たな年度を無事迎える事が出来ましたことは、管内御寺院様並びに会員諸兄の皆様の御理解と御協力の賜物であると衷心より御礼申し上げます。任に当たり一年が過ぎました。月日の過ぎる速度は己の歳に比例していると聞いた事がありますが、ここ数年しみじみと実感しております。昨年とは日本各地で災害が起こり、メディアに目を向けるとその日の出来事が最近の事のように思われます。我々青年会も被災地復興を願い、微力ではありますがボランティア活動を年間を通して行って参りました。現地へ赴き被害の状況を目の当たりにしますと、身につまされる思いが体中を駆け巡りました。その中で宗侶として、また一

かんぽ — 第7号 —

【題字】
洞慶院 丹羽鐵山 老師

人の人間として今出来る事をさせていた
だきました。

そこで気付いた事は、
新たに事を起こすのは
難しく、人それぞれ
考え、特技があり、
内にある思いも様々

ですが、若い人の力、先輩方の知識は何事にも代
えがたい大変有難いものであるということです。

昨年度は色々得難い体験をすることができま
した。今年度も多くの方々のお力添えをいただき、
会員同士の絆をより深め、今何が求められ、何が
出来るのかを考え、活動していきたいと思えます。

また、秋には第一宗務所青年会が主管する東海
管区曹洞宗青年会大会を開催いたします。会員一
丸となつて大会円成を目指して行く所存であります。
管内御寺院様におかれましては、今後とも青年
会に対する変わらぬ御指導御鞭撻を切にお願い申
上げ挨拶とかえさせていただきます。

合 掌

東海管区曹洞宗青年会

第三十六回大会

開催日 平成二十四年十月三十一日(水)
十一月一日(木)
会場 ホテルセンチュリー静岡



二十三年度 活動報告

東日本大震災 被災者支援

- 平成二十三年三月十五～十七日：各地の駅、繁華街で義援金托鉢を行い、いただきました浄財百五十八万八千八百三十五円をシヤンティボラントエア会・静岡新聞社に寄付。
- 四月十二～十五日：岩手県常堅寺様の案内指示の下、宮城県石巻市高源院様の畳、仏具運び出し撤去作業。
〔先遣隊〕小川善広・翠智道・吉岡博瑞・高橋英明
- 五月二十三～三十一日：福島県郡山市の避難所にて行茶、傾聴。
- 二十四日：宮城県山元町の避難所にて行茶、傾聴。
- 二十五日：山元町内のいちごハウスで泥出し清掃。
〔第一班〕小川善広・澤田俊憲・溝口信行・伊藤和貴
- 二十五～二十七日：岩手県釜石市を拠点として行茶、傾聴。
〔第二班〕吉岡博瑞・松本好寛・浅井康博・青木隆徳
- 六月二十二日：宮城県亘理郡山元町の避難所にて行茶、傾聴。
- 二十三日：山元町内のいちごハウスで泥出し清掃。
- 二十四日：福島県国見町の仮設住



- 宅にて、行茶、傾聴。
〔第三班〕翠智道・野原全州・加藤宣周・柴田英憲
- 二十七日：宮城県石巻市の避難所にて行茶、傾聴。
- 二十八日：宮城県石巻市の一般家屋・喫茶店で、ガラス窓、床の清掃。
- 二十九日：移動日。
〔第四班〕小川善広・浅井賢文・鈴木俊良・吉岡博瑞
- 七月二十五日：移動日。
- 二十六～二十七日：宮城県亘理郡山元町の曹洞宗寺院で墓地清掃。
〔第五班〕小川善広・翠智道・伊藤和貴・畑中孝道

- 八月二十九日：福島県相馬市の仮設住宅にて行茶、傾聴。
- 三十日：宮城県亘理郡山元町の一般家屋の解体作業。
- 三十一日：移動日。
〔第六班〕小川善広・満目大善・丹羽崇元
- 九月十二日：福島県相馬市の仮設住宅にて他県の青年会、寺族、社会福祉協議会と共同で行茶、傾聴。
- 十三日：宮城県亘理郡山元町の曹洞宗寺院にて一般ボランティアの方および石材店と協力し墓地内の泥かき清掃。
〔第七班〕吉岡博瑞・辻田博道・加藤宣周・杉山隆平・伊藤和貴
- 十月二十四日：宮城県亘理郡山元町母ハウスの機材の設営、ハウス周辺の除草作業。
- 二十五日：母の苗の植え替え作業。
〔第八班〕小川善広・翠智道・満目大善・水野将之
- 十一月十四～十五日：宮城県山元町の仮設住宅にて茨城曹青、全曹災害復興支援部と共同で行茶、傾聴。
〔第九班〕吉岡博瑞・加藤宣周・加藤龍貴
- 十二月五日：宮城県山元町の仮設住宅にて行茶、傾聴活動。
- 六日：宮城県山元町の一般家屋の解体、泥かき。
〔第十班〕小川善広・青島永紘・阿部孝悦・浅井康博
- 平成二十四年一月三十日：福島県新地町仮設住宅にて全曹青、福島宗務所寺族、地元社会福祉協議会と共同で行茶、傾聴。

- 三十一日：宮城県山元町普門寺にて、堂内清掃および震災追悼法要の準備手伝い。
〔第十一班〕小川善広・翠智道・杉山天輝
 - 二月二十日：福島県新地町仮設住宅にて行茶、傾聴。
 - 二十一日：宮城県山元町普門寺にて、堂内清掃および震災追悼法要の準備手伝い。
〔第十二班〕小川善広・翠智道・加藤龍貴
 - 三月十一日：福島県伊達市成林寺に於いて慰霊法要・宮城県山元町普門寺に於いて慰霊法要。
 - 十二日：ボランティア活動。
 - 十五日：岩手県大槌町に於いて桜の植樹。
- 本会では、今後もボランティア活動を継続していきます。「web緩歩」にて詳細を掲載しています。

台風十五号 災害ボランティア

- 九月二十六日～二十七日：三重第二宗務所青年会より要請を受け、小川善広、篠田道秀、翠智道、伊藤和貴が現地にてボランティア活動。
- 二十八日：熊野市井戸町「大馬神社」にて泥かき作業。
- 二十七日：午前、前日に続いて「大馬神社」にて泥かき作業。午後、町内の民家にて土砂撤去作業。

花祭り

四月八日の午後、各地区の駅前や繁華街に於きまして花の種を用意してチラシと共に配布しました。

また、花御堂と誕生仏を用意し参拝者に灌仏を行っていただき、甘茶のサービスを行いました。

併せて、東日本大震災義援金街頭托鉢を行いました。浄財三十九万二千九百七十二円をシャンティボランティア会の東日本大震災復興基金に寄付いたしました。

第十九回定例総会

四月十一日、大正寺において、第十九回定例総会を行いました。

平成二十二年度の事業報告、会計報告・監査報告をし、小川善広新会長のもと第十期の新任理事・執行部員が承認されました。平成二十三年度事業計画、会計予算案などについて討議され、全て承認されました。

また来賓の坂野浩道宗議会議員より、東日本大震災に対する宗門の取り組みについてのお話をいただき、会員一同が被災地支援への決意を新

たにしました。

研修法要

六月十五日、研修法要として大正寺開山忌を厳修いたしました。会員五十名が参加し配役は研修委員を中心に務めました。

平和祈念托鉢

十一月十一日、世界平和記念日に合わせ静岡駅北口地下広場にて会員三十名にて、恒例の平和祈念托鉢に代えて東日本大震災支援托鉢を行いました。当日はあいにくの荒天で、地下広場のみの托鉢、広宣となりました。浄財四万三千四百六十五円はシャンティボランティア会の東日本大震災復興基金へ寄付しました。

国立駿河療養所訪問 納骨堂慰霊法要

十二月十六日、国立駿河療養所（御殿場市）において、入所者自治会駿河会会長小鹿美佐雄氏による講演、続いて入所物故者納骨堂において慰霊法要を行い、施設見学をさせて頂きました。



歳末助け合い托鉢

管内各地で歳末助け合い托鉢を行いました。

沼津市では十一月二十七日に市街地を中心に行い、浄財七万三千三百八十九円をいただきました。

静岡市では、十二月三日に静岡市青葉公園、静岡駅周辺において托鉢を行い、浄財八万九千六百四円をいただきました。

島田市では十二月十二日に島田駅

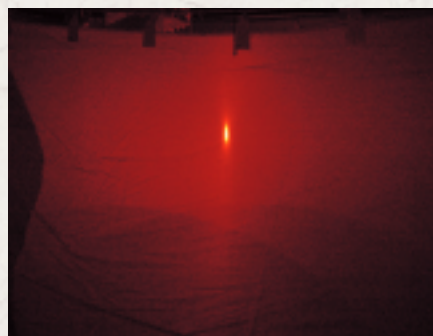


献血活動

前を中心に巡回托鉢し、浄財一万七千六十九円をいただきました。焼津市では焼津駅前を中心に巡回托鉢し、浄財一万五千九百九十九円をいただきました。いただきました浄財は各地区の社会福祉協議会を通じて歳末助け合い募金に寄付しました。

一月八日、青葉公園において、献血活動を行いました。まず始めに赤十字社員より「献血の基礎知識、および諸注意」を受け、会員の献血とともに一般通行者への呼びかけをしました。会員一般を合わせ約七十名のご協力をいただきました。

お授戒の様子



懺悔道場

これまでの罪科を祓う懺悔の儀式です。赤い幕の中で秘密裏に行われます。



正授道場

修行が完成して仏弟子となり、戒師様から血脈を受けます。白い幕の中で厳かに行われます。



説戒

戒に通じた和尚様から十六条の戒法について教えを受けます。



朝昼晩の勤行

朝昼晩のお勤めをいたします。随喜の和尚様方と戒弟の皆様で仏様に礼拝し説経します。また、お申し出のあったお宅の御先祖様の供養をいたします。



巡堂

勤行や聞法ばかりではなく仏様の名前を唱えながらお寺の周りを歩き体をほぐします。



お食事

先祖供養の施主家の喜捨でお食事をいただきます。飯台導師さまと共に食前・食後の偈文を唱えていただきます。

お授戒のすすめ

戒

は、深い信仰に根ざした生活を送ろうという決意を促す教えであり、曹洞宗では「戒」を受け持つことによつて、「無益な殺生などとはどうしてできない(不殺生)」「人に對して嘘はつけない(不妄語)」というように、慈悲の心が生活の中で習慣となり、人間として正しい生き方が確立されると説かれます。

そこで、檀信徒の方々にも、すばらしい仏教の教えを日々の生活に活かしていただく大きな機会として、お授戒会を勧めています。

檀信徒が戒を受ける五日から七日間の法要が「お授戒会」です。この間、聞法と礼拝を通じて仏弟子としての自覚を持ち、仏心を育んだ上で「戒」を受けます。



戒師と戒弟

授戒は戒法を授けていただくことを言います。授ける人は戒師と言ひ、菩提寺の住職や本山の貫首等の大和尚が勤めます。授けていただくものは「菩薩戒」という戒法です。戒法を授かる皆様を戒弟と言ひます。



監修 盤脚院 山田康夫老師

血脈とは

お釈迦さまから代々教えを受け継いだ和尚の名前が連なり、戒弟まで至る系譜書です。

戒名とは

戒を受けた仏弟子としての名前です。

戒法とは

曹洞宗では、お釈迦さまから伝わる大乘仏教の菩薩戒を十六通りの筋道として立て、十六条の戒法とし、これを実践すれば全ての戒が持たれるとされています。

その十六条の戒法は

三歸戒……三宝への歸依

歸 依 仏 仏様に歸依いたします。

歸 依 法 仏様の教えに歸依いたします。

歸 依 僧 仏様の教えを受け継ぐ僧侶に歸依いたします。

三聚淨戒……仏弟子として努力すること

攝 律 儀 戒 戒やきまりを守ります。

攝 善 法 戒 善いことを進んで行います。

攝 衆 生 戒 多くの人々に尽くします。

十重禁戒……仏弟子が犯してはならないこと

不 殺 生 戒 生きとし生けるものの命を大切にします。

不 偷 盜 戒 盗みや不正はいたしません。

不 貪 婬 戒 夫婦の道は乱しません。

不 妄 語 戒 嘘いつわりは言いません。

不 酤 酒 戒 迷いの酒にはおほれません。

不 説 過 戒 他人の過ちをいふらしません。

不 自 讚 毀 他 戒 自分の自慢や他人の悪口は言いません。

不 慳 嗔 財 戒 物でも心でも与えることを惜しみません。

不 瞋 恚 戒 怒りに自分を見失いません。

不 謗 三 宝 戒 三宝をそしりません。

最後に

お釈迦さまはお亡くなりになるときに、お弟子たちに最後の説法をなさいました。その説法のはじめに、「私の入滅(死後)は、何よりも「戒法」を敬い尊ぶ生き方をしなさい。そうすれば、人生は明るく、心豊かに暮らせるのだ」と示され、「戒法」を敬い守っていくならば、私が生きていけると変わりがないのだ」とまでお諭しになっておられます。ぜひ、よりよい生活の為に授戒会への参加をお勧めいたします。

御寺院様へ 檀家様の「ご覧になる」に「ご指示」してください。

梅花観音霊場めぐり【中部③】

静岡市内の
梅花観音霊場をご紹介します。

第二十八番

曲金山

龍泉寺

ありがたや
富士を仰ぎて
龍泉寺



仏の心
清く円かに

駿河区

曲金

第二十九番

象田山

法幢寺

天照らす
神の母
その色かへて
なほもふりぬる



雪の白山

葵区

長沼

第三十番

長沼山

久應院

幾年か
微笑満たす
老梅花



永久に咲きそう
長沼葉師

葵区

長沼

第三十一番

瑞雲山

法泉寺

あな尊うと
法の泉の
湧き出する
古き郷とや



人の云ふらむ

葵区

古庄

第三十二番

聖色山

円福寺

つといよる
人の心も
円福寺



ここぞ聖の
里とたたえん

駿河区

聖一色

第三十三番

吉田山

桃原寺

桃原に
しずまりませる
観音の



救世の悲願
きつととげなん

駿河区

国吉田

第三十六番

無量山

浄界寺

瑠璃光の
輝く光り
浄界寺



願い叶いし
頼もしきかな

葵区

瀬名川

第三十七番

大圓山

増福寺

時雨川
清き流れの
増福寺



大慈大悲の
御手にかがやく

葵区

南瀬名町

第三十八番

清涼山

光鏡院

清涼の
御山に薫る
梅の花



慈悲の心
証しなるらむ

葵区

瀬名

第三十九番

般若山

良富院

富て良き
山ふところの
御佛は



般若の舟に
慈悲の妙相

葵区

北沼上

第四十番

太平山

三枝庵

太平の
み山に登り
拜むは



三枝の庵に
澄む法の月

葵区

平山

第四十一番

醫王山

東光寺

千代やちよ
心も安き
みほとけの



光りあまねく
照らしたまえり

葵区

千代田

委員長挨拶

大会実行委員会



委員長
野原全州

平成二十三年度は大会開催に向け、まず、委員会内で事務局を立ち上げ、委員と共に、開催日、会場、大会内容等について検討してきました。

特に大会内容については、当委員会内で、全曹青、東海管区を通じて、大会経験者が少ない中、自由な発想のもと、多くの貴重な御意見をいただき、議論する事ができました。

今年はいよいよ大会開催年度になります。より多くの議論、打ち合わせを重ね、また会員同士さらなる親睦を深め、大会成功に向け取り組んでいく所存です。

本年度もさらなる御協力をお願いします。

ボランティア委員会



委員長
翠智道

昨年度は、主に三月十一日に発生した東日本震災被災地へのボランティア活動、また、継続事業として献血ボランティアを行いました。

震災ボランティアは、毎月三〜五名の会員が現地に入り、避難所や仮設住宅においての傾聴活動（行茶）や、農地や一般家庭、被災寺院にて泥出し等のお手伝いをさせて頂きました。

現地に行き、状況を肌で感じ、生の声を聞くことにより、被災者の思いや痛みを些かなりとも共有させて頂きいただきました。また、自分に置き換えて、改めて防災意識を高める機会ともなりました。

また、献血ボランティアは、年始

の開催にもかかわらず多くの会員の出席をいただき、献血だけでなく、通行人に対しての呼びかけをし約七十名の献血のご協力を頂きました。今年度も、震災ボランティアは継続し、また委員一同で新たな企画を考えておりますので、御協力と御参加をお願い申し上げます。

教化研修委員会



委員長
水野有 高

教化研修委員会では昨年六月、大正寺開山忌を青年会の法要研修とさせて頂きました。また十二月には、地域社会研修として、国立駿河療養所を訪問する中で療養中にお亡くなりになり帰郷が叶わなかった方々の慰霊法要を行い、ハンセン病に対する正しい理解を深める事が出来ました。会員皆様の御要望御意見を聞きながら、引き続き有意義な研修活動

行っていきたいと思えます。本年も宜しくお願い致します。

広報委員会



委員長
寺澤孝道

広報委員会は、青年会活動の記録と広報宣伝を担っています。その実現としてまず、青年会HP「web緩歩」を毎月一日に更新しています。事務局や各委員会主催の活動に委員が積極的に参加し記録を取り感想を述べています。会員内外が見やすいHPにしようと同年度はデザインと内容の見直しを行いました。年度をまたぎましたがこの四月から順次記事の入れ替えを進めます。また年次の報告として本誌「緩歩」を発行しました。活動報告のみならず布教教化資料として特集ページを企画しました。お役に立てば幸いです。

賛助御礼

- ・ 1 1 顕光院様
- ・ 1 3 長源院様
- ・ 2 48 正信院様
- ・ 4 107 大正寺様
- ・ 4 110 大慈悲院様
- ・ 4 112 石蔵院様
- ・ 4 120 怡泉寺様
- ・ 6 156 十輪寺様
- ・ 7 207 萬松院様
- ・ 8 410 瑞心寺様
- ・ 10 475 東泉寺様
- ・ 11 510 龍雲寺様
- ・ 13 552 貞善院様
- ・ 13 572 洞福寺様
- ・ 14 20 慶龍寺様
- ・ 14 26 宝珠院様
- ・ 15 89 桃原寺様
- ・ 15 97 法幢寺様
- ・ 16 214 新豊院様
- ・ 16 217 清源院様
- ・ 1 2 瑞光寺様
- ・ 1 9 然正院様
- ・ 3 65 富慶寺様
- ・ 4 108 帝釈寺様
- ・ 4 111 慈貞院様
- ・ 4 114 西岩寺様
- ・ 5 126 一乗寺様
- ・ 6 161 庚申寺様
- ・ 8 393 弘徳院様
- ・ 10 463 栄昌寺様
- ・ 10 490 万福寺様
- ・ 12 528 盤石寺様
- ・ 13 556 信香院様
- ・ 14 19 光用院様
- ・ 14 21 龍國寺様
- ・ 14 27 泉秀寺様
- ・ 15 93 鳳林寺様
- ・ 15 100 東光寺様
- ・ 16 215 貞心寺様

青年会の活動に多大なるご支援
ありがとうございました。

青年会一同九拜



第19期 曹洞宗青年会 会長
松岡 広也

全国曹洞宗青年会（以下、全曹青）会長に就任し、およそ一年を務めて参りました。その間、宗務所管内の御寺院様には、多大な御理解御協力御賛助を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。特に、第一曹青小川会長を始め会員各位には、全曹青と連携し、毎月欠かさず被災地での復興支援活動を継続して頂いておりますことを、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

昨年は東日本大震災だけでなく、台風による甚大な水害もあり、日本全体が日常生活の脆さを痛感した一年でした。東海地震が危惧されて久しい我々の地域も、本当にいつ大災害や同時災害に見舞われるか分からないところでは、未曾有の大災害の経験を活かすには、我々の地域でも有事を想定し、できうる限りの備えをする必要があります。物資の備蓄は当然のことですが、地域の社会福祉協議会や民間のボランティア団体等と平時から信頼関係を構築しておくことは、非常に重要です。迅速かつ

正確に行動するためには、いかに多くの「絆」で繋がっていることが大事か、私自身はこの一年の活動を通して実感しました。

「絆」とは「人と人との断つことのできない繋がりにある」と辞書にあります。我々は目に見えない関係の連続で世界中の誰とも繋がっているけれども、ほとんどの繋がりは実際に感じることなく人生を終えてしまっています。しかし、その繋がりが見えるようになるのは、ほんの少しのきっかけです。それが「絆」ではないかと思えます。いつもより一歩進んだ行動をするだけで、新たな「絆」が見えるようになります。逆に、見えている「絆」を見えなくするのも自分の行動次第です。

幸い、私自身は青年会活動を通じてたくさんの「絆」が見えるようになってきました。青年会は、活動することによって繋がりを顕在化し、様々な「絆」を深めることができる素晴らしい組織であると実感しております。会員各位が、青年会活動を通じて新たな一歩を踏み出し、新たな「絆」を見つけることによって、素晴らしい一年を過ごすことができるよう祈念いたします。

最後に、今年度も全曹青の活動に倍旧のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。

卒会者紹介

- 二教区 龍津寺 浅井賢文師
 - 十五教区 鳳林寺 平尾直毅師
 - 三教区 大仙寺 大村則道師
 - 八教区 弘徳院 松永善弘師
 - 一教区 長栄寺 服部憲明師
- 長い間お疲れ様でした。これからもご指導よろしくお願い致します。

新入会員紹介

- 八教区 孝養院 伊藤宗満師
 - 十教区 洞雲寺 糸柳格彰師
 - 十教区 富洞院 稲葉俊隆師
 - 十二教区 長昌寺 鬼頭直樹師
 - 十五教区 浄界寺 山本博嗣師
 - 十五教区 普濟寺 平尾隆朋師
- よろしくお願ひ致します。
これからの活躍を期待します。

編集委員 寺澤孝道 大村則道

杉山大禅 古川義典 岩上覚真

吉岡見純 景浦道一 藍谷崇文

青木隆徳 杉村正弘 梅貝泰文

発行 曹洞宗 静岡県第一宗務所青年会

事務局 静岡市駿河区向敷地6889 徳願寺内

発行責任者 小川善広

編集 青年会広報委員会